



商業學の教授上に實際問題を用る價值：大正十三年七月九日神戸高等商業學校商業研究所第十回講演會に於ける講演(上)

田崎， 慎治

(Citation)

經濟學商業學國民經濟雜誌, 37(3):351-376

(Issue Date)

1924-09

(Resource Type)

departmental bulletin paper

(Version)

Version of Record

(URL)

<https://hdl.handle.net/20.500.14094/00053679>



商業學の教授上に實際問題を用ゐる價值（上）

（大正十三年七月九日神戸高等商業學校
商業研究所第十回講演會に於ける講演）

田 崎 愼 治

商業學の研究の上に實際問題を用ゐると云ふことは如何なる意義があるかと云ふ問題であります。私はこの問題に就ては現今アメリカのハーバード大學の商科に於きまして盛んに用ひられて居りまするケース、システム即ち實際問題應用の教授法と云ふものに付て考へて居るのであります。ハーバード大學に於ては徹底的に大仕掛にケース、システムを用ひてゐるのであります。現在の商科大學の學長のドナム氏は一九一九年頃に今の學長の職に就かれたものゝやうに記憶して居りますが氏はハーバード大學法科の卒業生でありまして大學卒業後に銀行業に長く従事せられ成功した人ださうであります。そして最近に其の銀行業を止めて商科學長の職に就かれたものゝやうに聞いて居ります。この人の考へでは法律を自分がハーバード大學でケース、システムで習つたと同じやうにや

はり商業學もケイス、システムに依り習ひ得べきものであると云ふ信念を以て非常に大仕掛にこの事に着手をして居るのであります。

最近に聞く所に依りますれば一千万弗の寄附金を同窓會の中で募集して居るさうでありますが其大部分は一千人現在の商科生徒は約六百人なれど近々内に千人迄増加する豫定の商業學の學生を養成するために使ふのださうでございます。蓋し現在よりも一層實際問題の蒐集を大仕掛けに遂行する考へであると察します。詰り實際問題を汎く各般の事業に互つて蒐めて其れを學校の材料に使ふと云ふのであります斯ふ云ふやうな大仕掛なことを考へて見たところで日本あたりでは到底眞似の出来る話しではありませぬが、然しながら如何なる理由の下にかゝることをドナム氏が計畫して居るのであるか、斯ふ云ふことを考へて見ると云ふことは非常に興味のある問題であらうと私は思ふのであります。

此のハーバード大學の計劃によりますとこれは學校の教材に用ゐると云ふことが主でありますが然しながら現在商業に従事して居る人達に向つて自分の事業經營上の根本方針を之に依つて確立せしめ之に依つて如何にして自分は事業を經營して行くかと云ふことをこのケイス、システムに依つて教へて行く材料を

供給すると云ふ計畫であります。この計畫の下に只今發表せられてゐる、ケイ・ス・システムの書物が私の知つてゐるところでは六冊ありまして各々五百頁乃至千頁位の大きなものであります。其の書物の如何なるものなるかは更らに後段に於て之を説明致します、先づ實際問題を教材とすることに付きて學長ドナム氏は如何なる根據を有するか、彼れは如何なる方針の下に商業大學を經營せんとしてゐるかを同氏の説明する所に依りて窺ふと思ひます。私は昨年末に同大學を訪問して調査を致しましたし、又同學長及其他の人の發表したる左の意見書を読みました。

By Wallace E. Donham (Dean of the Graduate School of Business Administration):—

1. The Unfolding of Collegiate Business Training (The Harvard Graduates Magazine for March 1921)
1. The Thirteenth Annual Report of the Graduate School of Business Administration for the Academic year 1920—21.
1. Business Teaching by the Case System (The American Economic Review, vol. XII, No. 1, March 1922)
1. Essential Ground work for a Broad Executive Theory (Harvard Business Review, October, 1922)

By Floyd W. Parsons,

1. Harvard Teaching Business the Way it Teaches Law ("World's Work" June, 1923)

Department of the Interior Bureau of Education, Washington, D. C.

1. Organization and Conduct of Business (Pub'd June, 1923)

商業學の教授上に實際問題を應用するの價

値に關するドナム氏の意見

商業の經營上の法則が實際上役に立つためには事業經營の任に當る人が他人の經驗を自己の現在の事情の上に利用して以て其の方針を定むることが出来る様な程度まで完全の域に進まねばならぬ。

と Donham 氏は述べてをる。Donham 氏は人の經驗の集合が經營學の基礎を爲すものとし而して其の經驗を適當に按配して經營學の理論が形成せらるゝものであると考へてをるのである。同氏は猶曰く。

經營の法則に通じてをると云ふことは熱心とか元氣とか卒先的精神とか創作的能力とか或は人格とかの缺けてをる人に對して補ひとはならない又技術

上の知識を經營の法則で補ふことも出来ぬ、乍去此等の種々な立派な性格と技術的知能を兼備してをつても其の事業の根底に潜在して其の事業を支配する所の力を理解することが出来なければ適確な判斷を下すことが出来ないので成效は期し難ひ

と云つてをる。同氏は人々の事業上の經驗、即 Business Precedent の必要に就て述べて曰く

事業家は自分の遭遇したる前例或は慣例に便よつて判斷を下してをる、即支配人は其の事業の管理上の諸問題を時々解決して夫れが前例を作り自然と其の前例が後日の問題決定の基礎をなしをるのであるが其の範圍は自分一箇だけの事業に限らるゝか或は其の同種類の事業だけに限らるゝのである。

雇主が同種類の事業を營んでをる所の他の會社から新に主腦者を雇入るゝ場合には其の人の箇人的の經驗に依て自分の改良を圖らんと欲するのである。云々

同氏の見る所によれば

同一の事業内のみならず同業者間には經驗とか前例とかの交換が行はれを

るけれども異つた職業者の間には此のことが存在しない、米國の事業家は自分の屬する事業の範圍外のことは殆んど知らない、蓋し彼の千九百二十年—十二年に於て經濟社會の混亂を生じ商賣の不景氣を醸したる事實に由て之れを觀るに business cycle と各自の事業經營上の問題との間の關係を適當に理解するの能力に缺けてゐたことを證明するものである。ハーバード大學經濟調查會 (Harvard Committee on Economic Research) は當時創業日尙淺く事業經營者でも其の存在を知る者が少なかつた位で其の發表したる豫測に對して信用を置く人は猶僅少であつた。千九百二十年商業不振の狀況を呈するの初めに當つて千八百九十三年の經驗をば適當なる形に於て記錄したるものを參考とする必要が甚大であつたが斯るものは存在せず經濟學を學んだ人の中には千九百十九年乃至千九百二十年の事變に際して其の經濟學の知識を應用して當面の問題を處理することが出來た者もないではないが最も元氣あり、適任者として平素知られたる實業界の主能者で其の商業不振の間最大なる困難に遭遇した者が少くはなかつた。

蓋し各種の事業に涉つて廣く記錄を求め其の記錄から經營者の據るべき理

論及前例を作出したならば商業の浮沈の時期に際して取るべき適當の處置を見出すことが出來やう。斯るものを用意してをけば我々の後繼者は後日起るべき商業上の事變に際して問題解決上の適當なる資料として之を用ふることが出來るだらう。

同氏は何故に事業家は經濟學者の研究を利用することが拙ひかと云ふことに付いて述べて曰く

Business cycle は經濟現象中事業家に取つて最も重大なることである經濟學者は此の現象に付ひて久しく研究を續けて來たが夫れにも拘らず事業家は千九百二十年の不景氣に際して何等の用意もして居なかつた夫れは一般に經濟學者の研究が或各別の事業上の問題を處理するに不十分にして經濟學者の研究の結果を事業家が自分の事業の上に應用することが出來なかつたからである。研究の結果が十分に利用さるゝに付いては猶爲すべき仕事が澤山殘されてをる、夫れは何故かと云へば事業家は悉く自分の事業は他の事業と異つてをると思ふてをるのである、此の考へは或程度までは是認せらるゝ、何となれば一般の經濟的の原動力は種々の事業に對して異つた程度に於て而して違つた時期に

於て影響を及すのであるからである。乍去經濟上の一般的勢力の影響を被むらない事業と云ふのは一つもないのである。各事業家の努むべき所は各自の見地より經濟を研究するにある、其の研究を進めて往て一般的の經濟上の勢力によつて如何に自分の事業が影響せらるゝかと云ふことを知り、而して自分の事業と他の事業との間の關係を理解せねばならぬ。

猶 Donham 氏は續けて曰く。

一般に實業界の人は經濟學者が餘りに理論に偏してをると考ふるの傾向がある而して學者の説は實業家に取て餘り有益でないと考ふるの習癖があつて學者の研究の效を小さく見積もるのである、實業家の斯る感じは或程度まで正當である、夫れは經濟學者の手の内にある研究資料が貧弱にして實業家に取りて實益ある論據を集むること不可能なるによるのと、又元來經濟學者は社會的の見地より事物を視るに對して實業家は先づ箇人的の立場より觀察しなければならぬのである、云々。

如此兩者の間には連絡が十分に取れてをらないので經濟學者が實業家に對して相當の指導を與へてをらないのである、尤も此の状態は事業の種類によつ

て多少の差がある經濟學の素養を有する銀行業者は重要な實際問題の解決に對して經濟學者の觀察の結果を利用し得る程度が割合に多い抑も銀行業は多種の事業に關係を有するので總ての事業に影響する所の現象を考察するの必要がある、銀行家の考察點は獨特(Special)の點が割合に少くして他の事業家に比して社會的の見地より事物を見るの傾向あり、乍ら製造業者に取ては直ちに應用することの出来る様な程度まで經濟學者は研究を進めて呉れてをらないと考へられてをる、云々。

以上は主として事業の對外的問題の解決に關する方面であるが猶事業の内部の問題の解決に就ても研究が必要であるとして Donham 氏は次の如く述べてをる。

會計士 (Accountants) は會社の對内的の問題の解決に關して前例 (Precedents) となるべき會計上の基礎を作成してをるのである、けれども此等の會計上の資料は一つの企業内に限つて用ゐらるゝ事柄である尤も近年に至りて數多の同種の企業に對して適用し得べき standard accounting systems 即ち標準方式を少しばかり案出したのである、斯る方式に基いて比較對照し得べき數字を蒐集したならば其の同種の事業全體に對して營業上の參考を供給するの便利開かるゝであら

う、鐵道業並に電氣、瓦斯、水道等の所謂 *Public utilities* 以外の事業に就ては斯る努力は今漸く始められたばかりで十分に發達してをらない、夫れで會計制度が今日の如く統一を缺き標準無き状態にある間は經營上の標準或は前例を一箇の企業に關して求むることは可能なれども廣く諸般の事業に通ずる經營上の前例或は標準を求むることは困難である。

重要工業の技術的或は準技術的方面の問題は技術者或は經營者によりて從來研究せられ、科學の進歩に伴つて技術は常に改良されて來た技術上の理論の進歩の著しき理由の一つは蓋し技士は必ず記録を作つて他の技士に前例(*precedents*)として之を残すからである技術的にあらざる方面の經營に關する事項は之を記録に認めて適當の状態に保存せらるゝと云ふことが未だ行はれてをらない、故に一の會社が他の會社の前例に倣ふことも出來ず一つの事業が他の事業の經驗を利用することも出來ない、現に取引、物價、賃銀、利率、人口其他の統計が官私によつて發表せられをるけれども之を有益に商業の經營に使用することの出來る様にはなつてゐない唯極めて例外の場合として既に出版せられてをるものがある例へば *Moody's Manual* の如きは *Public utilities* 並に鐵道に關して重

要なる標準を示してをる即之れに依れば會計上並に營業上の事項が技術方面の問題も非技術的方面の問題も總べて同様の標準を以て示されてをるのである然るに他の種々の事業に關しては何れの刊行物にも會計上或は營業上の標準を示してをるものはない。投資銀行 (Investment bank) に於て工業會社の有價證券を取扱ふに付いて最も苦心する所は實に此の缺點があるためである。他所の企業の使用人を雇入るゝ場合或は同業者間に競争が行はれて經驗の交換が起ると云ふ場合には各別の企業間に經驗の交換が從來行はれたのであるが同業者が進んで經驗を交換すると云ふことはなかつた二十年位前までは總べて秘密にして居たけれども今日は技術に屬せざる營業上のことには秘密は米國には餘りないので同業者間に經驗を交換すると云ふことが可能になつて來た、之れは所得税其他に關して政府へ通知する必要があるためであるか其の理由は別として其の交換は同業者間に限られてをると云ふのは同業組合とか或は同業者間の箇人的接觸によりて經驗の交換は行はれるのである。然るに全然種類の違つた他の事業の慣習及前例に依つて學ぶべきものが甚だ多いと云ふことが現今に至て漸く了解せらるゝのである、各種の同業組合間の聯合會の

如きものが行はれて此の方面の利益を與へつゝある又彼の National Industrial Conference Board の如きものが與かつて有益である然れども斯るものは例外として見るべきもので或特種事業の範圍に於ては調査研究が進められて將來効果を表はすであらうが先づ概言すれば事業の成績を比較對照して検査すべき組織的の標準なるものが未だ編成されて居ない従て一の事業の支配人が他の事業の支配人から學び得る所が甚だ少ないのである云々。

Donham 氏は商業經營の學理的方法、即ち商業學の研究と法律の研究とを比較して次の如く論じてをる。

今日の商業の學理的基礎は恰も英國及佛國に於て千二百年より千三百年頃の法律の有したる地位に同じである當時英佛に於て法律は全然地方的のものであつたことは恰かも今日の商業上の慣習及前例が各別の事業に限られて地方的なると同じである又當時は法廷の判決は主として慣習と裁判官の記憶を基として行はれた法律が現在の如く學問的の發達を遂げたのは記録に残つてゐる判例より發展したるものである英國に於ては千百九十五年以來又佛國に於ては千二百五十二年乃至千二百七十一年の頃以來此等の記録されたる判例が

法律研究の基礎として用ひられたのである、今日の各純理科學及應用科學は皆法律と同じ徑路を取て發達して來た、科學的の觀察方法が發見せらるゝに先立ちて天文學者も醫學者も自然現象に對して久しき間記録を作つて之を分類し遂ひに法則とか理論とかを發見し將來起るべき現象までも豫測し得る様になつた總べての學理的の研究は先づ事實を蒐集し分類することより始まるのである、而して其の記録されたる事實より一般的の法則を見出すと云ふことにするのである、法律の如きは彼の自然科學と異つて *exactness* と云ふことは缺けてをるけれども斯る研究方法を用ひて其の效を奏したのである、此の點に於て商業は自然科學よりは法律に類するものである、それで商業學の研究は理學や化學よりも寧ろ法律と同じ道行きを取るべきものである。

同氏は科學的研究方法によりて商業學の原理を見出すに付いて如何なる方法を取るべきかに就て曰く。

現今行はれてをる研究方法を推し廣めて學理的に行はねばならぬ、現今官私によつて發表せられてをる材料は經濟學者並に事業經營者の兩方の立場から猶研究せられ分類せられねばならぬ、従來行はれたる所の研究分析と云ふこと

は社會的或は經濟學の見地より多く行はれ事業經營上の立場から餘り考へられてをらない、夫れで事業家は之れに手を加へ更らに各箇人の事業上の問題解釋に適應する様な計劃の下に之れを取扱はねばならぬ、猶又現存せる材料だけにては商業經營の研究には不十分であるから殊更らにより多くの資料を蒐集しなければならぬ。

Donham 氏は Harvard 大學の商科に於ける case system に就て述べて曰く。

Harvard に於て集むる所の cases は蓋し斯る方面の不足の一部分を補ふことを得るであらう、Harvard では事業經營者の實際遭遇したる問題を其儘に學生に與へて解釋せしめ training を行ふのである、學生に與ふる cases には多くの場合に於て solutions を記入しをらない、現に之れに付ては實際家側から solutions をも出版すべき旨の請求がある、cases によつて商業學の理論を習得するためには實際上如何にして問題が起りたるかと云ふことを知ると共に夫々の經營の任に當つてをる人々が如何に之れを處理したかと云ふことを知るのも有益なることであらう、又其の問題の解決によりて如何なる結果を得たか、成效したか、失敗したかと云ふことを知ることにも有益であるであらう、法律の判例は其の時々に報

告せられ目次或は註釋が表はれるのであるが之と同様に商業上の case にも註釋も矢張り入用である、故に Harvard より出版する case books は將來實例を記錄し分類し分析し解答をも附することになるであらう而して此のケースブックによつて事業經營の任に當れる人々が自分の事業上の經驗に加ふるに廣く各事業の前例 (Precedents) と對照し種々解決方法のあるのを比較研究して自分の問題の適當なる解決の方法を見出すことを努むるであらう、云々。

學長ドナム氏は曰く。

大學に於ける商業教育は一八八一年にペンシルバニア大學の Wharton School を以て初まり次で一八九六年シカゴ大學が商科を創設し一八九七年に於て加州大學の商科又一九〇〇年に Amos Tuck School of Dartmouth が出來たのである。之れに次て米國の主要なる大學には急速に商業科が設置せられたのである。尤も一九一〇年以前までは米國の大學教育上に於て商業教育は實に微々たるものであつた。商業大學に於て學生の數の増加したのは一九一五年來の事に屬するのである。商業學生の特に著しく増加したのは一九一九年より一九二〇年に跨がる學年以來のことである。此年度に各商業大學ともに五割乃至十

割の學生の増加を見たのである。其一部の原因は軍務を解除せられた青年が一時に蟄集せるにも因りたるも其後引き續き依然増加の傾向を示したのである。夫れは從來の修業年數四年の文科に入りたる學生が法、醫、工、商業の實業科を選ぶに至りたるが爲めである。

ドナム氏は Harvard Graduate Magazine の一九二一年三月號に於て述べて曰く。

米國の多くの商業大學は從來の文科に代りて出來而して其の四年の課程中の二年は文科の學科を教へ他の二年を商業教育に充つる工合なれどもハヴァード大學は文科大學の教育を毫も犠牲に供せず其卒業生に向つて(Graduate)二年の商業教育を施すを目的とするのである。一般の Under Graduate School の教育とハヴァードの如き Graduate School の教育とは其の間に自然幾分の差があるであらう。又同じく Under Graduate School に於ても其所在地の周圍の事情に依て教育に差があるのであらう。加之元來高等商業教育が全體として今や全然幼稚の域に在り之より追々發達すべき運命を有するものなれば今爲されつゝあるものは總て試験的のものにして絶えず變遷しつゝ進み行くものである。私(ドナム氏は過去一年間此の問題を研究して居たのであるが教育者としてよりは寧ろ

實業家として研究して居たのである。教育者としての経験を積みた後に於て他日今日の意見を改むる時期があるかも知れぬ。私の現在の考へはハヴァド大學の法科に於て法律教授上に於て採用せる實際問題應用教授法 (Case System) に關する私自身の経験並にハヴァド商業大學に於て現に試みられつゝある此の Case System に基いて居るのである。此着眼點から商業教育の目的、學科目及教授法の三者に就て述べしと前提して次の意味のことを書いてをります。

第一 商業大學に於ける教育の目的は商工業者の眼前に實際現はるゝ所の實際問題と全然同様なる問題を分析して考察すべく學生を訓練し事實問題の一般的基礎及其の理論を納得せしめざる可からず。卒業生の實務に従事する場合に其の事務上の経験に依て以上の事項を數年間に獲得することは甚だ困難なり、云々。實務に従事せる人は其の自分の仕事丈けのことは解せらるゝとしても一般的の事實並に一般的の理論を捕ふること難し。此の點は學校教育に待たざるべからず此の理に依て學校教育は卒業生が實務に従事して直ちに間に合ふと云ふ點に重きを置かず數年の後に應用の働きを爲すべき點に重きを置かなければならない云々。猶ほ又卒業の後に自分の従事する仕事に適當す

る能力を有する様に教育を爲さざる可からず。米國に於て何故に文科を止めて實業科に入學するに至りたるか。之れ此の適應性を求めんが爲めに外ならず。卒業生が自ら新たに入る會社が如何なるものなるか其仕事が如何なるものなるか其の友が如何なる人かと云ふ事を其仕事に入るに先ちて心得て居ることも亦卒業生に向つて今の實業界の要求する事項の一つである。

第二 學校の根本方針に基きて定められたる一般的學科目は總ての學生に共通なるべし。又他方に於て學生の性質希望等に基きて分立し集中するものあるべし。生産、分配、金融及會計は總ての事業に共通なり。故に之れ等の項目に關する一般の概念は總ての學生は必ず之れを得ざるべからず、尤も之れが爲めに箇人の選擇の範圍を妨げ或は特別の専修學科の研究を之れが爲めに怠ることなき様に注意するは勿論なり。専修科目としては商工經營 (Industrial Management) 銀行及金融 (Banking & Finance) 市場の研究 (Marketing) 外國貿易 (Foreign Trade) の如きは各商業大學に於て必ず設けらるべき主なるものであらう。

第三 教育の方法は蓋し教授要目の範圍或は學科目以上に重要なるべし。元來實業界の仕事は大部分は同じ事を繰り返す様なこと及び事務的のことであ

る。生産、分配及金融の事業は如何にして遂行せらるゝやと云ふに小數の指揮者の立てた計劃を其監督の下に多くの人々に依て遂行せらるゝのである。商業大學の目的は其の事務に従事する技能者を養成するに非ずして事業の創意的及經營的能力を作るに在り。經營者は古き法則を新しき事實に適用するの能力なかるべからず。實際の問題を分析して解決するの技能を有せざるべからず。總じて事業界のことは之れを幾多の問題として現はすことを得可し、經營の任に當る人は此の問題を解釋するの能力を要す。商業大學は斯る能力を養成し發達せしめざるべからず。ハヴァード大學の金融の教授 Prof. Dunbar は嘗て斯く言へり。金融の正しき法則は只一つあるのみ、夫れは各の事情の下に最善を盡すにあるのみと (to do the best thing you can under the circumstances) 蓋し教授の此の法則は總ての實業に之れを應用することを得可し。教授の此の言は實際及理論の一般的基礎を無視するものでない。蓋し同教授は時々起る所の問題は其周圍の事情に關連して夫れ夫れ解決を下すの外はない。従て商業教育の最善の方法は新しき問題を解決する能力を涵養するに在りと云ふのである。而してドナム氏は現今行はるゝ教授の方法を四大別して此の四種は種々の分量

に於て結合採用せられつゝありと言へり。

第一、教科書を用ふる方法 (text book method)

第二、講義法 (lecture system)

第三、臨地法 (field work)

第四、實際問題採用法 (case method)

此の中にて第一と第二は著者或は講師が研究事項を順序に由りて分析しつゝ、進むものにして研究事項の根底に横はれる事實及理論をば其教師の頭腦に畫かるゝ通りに多少の偏見を交へて學生の前に表はすなり。此方法は適當なる教師の下に行はるゝ場合には數多の長所を有す即ち比較的少數の時間内に多くの事項に亙り教授することを得べく其科目の性質が廣く一般的に事實を知らしむることが第一の目的であつて學生各己の判斷に依て解決せしむ可き餘地の少なきときは第一第二の方法は之れを採用して可なり。之れ等は各學校にて多少必ず之れを採用せり。

臨地法も各商業大學に多少之れを採用せり、實際商店工場に臨みて事實に接するものなれば其氣分に於て甚だ宜し。然れども如何なる程度まで學校の課程

上に之れを用ひ得るやの範圍に就ては恰も工科大学に於けると同様一つの疑問なり。或る特定の事業の或る特定の地位に就くことの確定せる學生に向ては臨地教育法を用ひ得可き範圍大なり、一般に經營の地位に充つ可き能力の養成に對しては臨地教育の應用せらる可き範圍は如斯大ならず。

猶ほ臨地教育法と相俟て進む可き他の方法は Laboratory Work 實習教室の設備なり、之れは臨地法に代用せられ或ひは共同的に用ひらる可きものにして發達せしむ可き餘地大なり。實際問題採用法 (case method) は比較的新らしき方法にして主としてハヴアド大學にて進展しつゝあり。此方法は實業家の事業上に起る問題を捕へて教場に於て討論の資料とするなり。實際問題を提供して學生をして之れを整備按配せしめ事實を解析せしめ口頭或は書面にて答辯を求むるなり。如斯して事業の根底に潜在せる一般的法則を出來得る限り實際問題より歸納せしむるものにして法則をばドグマチックに學生の前に述べて指導に供する事は之れを避くるなり、學生の前に提供せらるゝ所の實際問題の種類は約左の如くなるべし。

第一、未整理狀態の資料——或る種の實際問題は其の資料を整理すること自身

が解決となることがある、斯る資料を供せられたる學生は自ら整理し猶如何なる資料が不足してゐるかを示し事實の輕重を酌量し結論を求むるのである。

第二、或る一定の問題の解釋——學生は其の問題を分析し解釋し秤量し結論を求むるのである。

第三、自己の配下の使用人より或種の要求を受けた場合に其の上役の人の採るべき採決方法(學生を其の上役の一人と假定して、)

第四、自己の上役より命令ありたる場合、其の命令を分析し之れを實行するまでの順序(學生を下役の人と假定して)。

case system を米國にて法律の教授上に採用し來りたる經驗に徴して米國の Alfred Z. Reed 氏は次の如く云つてを(ドナム氏の意
見書より拔萃)

case method を用ひて成效し得るには次の三條件がある。

- 一、學生が既に相當成熟せる智力を有すべきは勿論であるが
- 二、教室に於て討議に入る前に實際問題に付き十分豫習を爲すの時間を學習者が有すること

三、 Case method に於ては書籍に依頼せず結極教師の指導に待つものである

から他の教授法に比して一層教師の有力なるべきこと

Durham 學長は千九百二十年より千九百二十一年に亙る一學年間の商業大學の報告(大學總長宛提出)中に於て述べて曰く

實際問題はミミラグラフに採つて學生に之れを與へて豫習せしめ教室で討議の資料に供せらるゝものであるが之れを蒐集するには二の方法を採用してをる、教師自ら休暇の期間を利用して其の採集に當つたことがある、例へば Prof. Lincoln の商工金融問題集 (Problems in Business Finance) は昨年一年の授業を休んで之れを完成したのである、尤も之れは寧ろ例外にして大學内の商業研究所 (Bureau of Business Research) と教師との協力によつて得らるゝものが多く、元來商業學研究に必要な實際問題の蒐集は實に研究所の調査事項の範圍 (research task) に屬するものにして一の調査研究機關を設けて爲さるべきものである、一の機關が組織せられて相當の資金を抱容して仕事の上の經驗を積みば有効に結果を收むることが出来ることになるであらう。

研究所の吏員をして外部へ出張せしめ教師の指揮の下に問題の蒐集に任せしめつゝある、出張員の經驗の進むに従つて有効に進展してをる。

猶ほ右報告書に於て氏は曰く。

實際問題を教室に於て用ふる當大學の教授方法に關しては何等一定の方法を設けず之を自由として居る。現に發行せられて居る所の各科目に關する問題集を検すれば各教師の獨創の考へで問題が集められ分類せられて居るのが解るであらう、蓋し長い間の教授上の經驗を経た後に於て初めて或る標準の下に或は統一せらるべく又問題の數の如きも多少減少するに至るやも知れない云々。

猶ほドナム氏は Case System の利益の一として曰く。

實際上の諸問題を適當に提供して學生をして之れを分析綜合して結論を按出せしむるに當て知らず知らずの間に諸種の事業に涉つて技術的並に一般的の知識を學生に與ふることを得るであらう、固より實際問題は出來合せとして存在することは稀れである。教師及研究所の外部出張員 (field agents) が研究の目的に供せらるべき條件を含んで居る問題を蒐集するのである。其問題は其提供當事者の名稱を變名して學生に示さるゝ通常三の種類がある。

(一) 其企業全體の方針或は企業と他の事業との關係或は其の企業と一般公衆或

は一般の經濟社會との關係に關することあり。

(二) 企業内部の營業問題に關することあり。例へば其事業の一分課の方針等に關する場合の如きものである。

(三) 各箇の事件に應じて問題を解決實行することに關することあり。

學長ドナム氏は學科目に依つて實際問題の提供の難易の差あることを報告して曰く。

例へば工業經營の問題 (Factory Management Problems) の如きは工業の要件とか技術とかに種類多く而して工場の建築及工場の設備を前提として意見を立てる必要があつて適當な教室用の問題を求むることは困難である。之れに反して市場論 (Marketing) とか銀行論とかのやうなものに於ては提供せられたる印刷物の上に於て充分に問題を考究し理解することが出来るから斯る困難は少いのである。故に工場經營論並に工業簿記學のやうなものに於ては他の學科に比して問題が多岐に涉り複雑なるを要するであらう。尤も是れは根本的にケース・システムに不適當なりと云ふのではなくして難易の程度の問題に止るものにして工場經營論の如きも努力に依て適當の問題集を作ることを得るは明

らかである。

ドナム氏は商業學を實際問題で教授すること、法律學を判例で教授すること、の間の相違の一として曰く。

商業の實際問題は法律の判例と根本的に異なるものがある。(常に然りと云ふのではないが多くの場合に於て斯様な差異がある。)夫れは商業の實際問題は實業家が實際に到達した判決のやうなものを伴はず、加之實際家の與へた判定の如きものがあるとするも其の是れに到達した推理の道程を示したものが無いのである。

猶ほ又商業上の問題は解釋が數様に現はれ得るであらう。指導教授は討議の際に各問題の解決に必要であると思惟せらるゝ要點を簡單に述べることゝなつて居るのである。(未完)